

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科	
科目名称 [英語名称]	臨床栄養学実習Ⅱ [Clinical Nutrition PracticumⅡ]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	303700	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	3年次	
教員氏名	甲斐 敬子/村上 眞珠美/大川百合子/福田ゆかり/深水知英				学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(2) DP3(1) DP3(2) DP3(5)		
授業概要	<p>病院や介護老人保健施設において、医師や関連職種と共に臨床栄養管理にあたる管理栄養士として、栄養ケアマネジメントの実践力を高めるための実習。</p> <p>臨床栄養学で学んだ各疾患について症例を検討し、栄養ケアマネジメントの手順(栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養管理計画または栄養ケアプラン、実施、モニタリング、評価)に従って実習する。栄養管理計画または栄養ケアプランの栄養補給については、食品交換表の使い方、献立の展開、調理についても実習し、管理栄養士としての基礎技能を身につける。看護学講座担当教員、摂食・嚥下認定看護師、薬剤師による実習も取り入れ臨床の場での具体的な対応力を身につける。</p> <p>国立病院・大学病院で管理栄養士として勤務した経験を活かし、症例検討・患者対応など実態に即した指導を行う。</p>							
関連する科目	履修前:臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ からだと疾病Ⅰ・Ⅱ 基礎栄養学 食品衛生学 調理学 履修後:臨床栄養学実習Ⅱ、関連する文献検索。実習・課題のレポート作成。							
授業の進め方と方法	外部講師を含め、管理栄養士・摂食嚥下認定看護師・薬剤師・看護学講座担当教員によるオムニバス形式で行う。解説はパワーポイントで行う。基本献立から、臨床栄養学Ⅰ～Ⅱで学んだ疾患に応じた献立の展開。傷病者、要介護者への基本的な対応方法の実習。介護食器、フードモデルの活用。嚥下機能評価、栄養アセスメントの為に身体計測の実施。静脈栄養剤、経腸栄養剤、栄養補助食品の試飲と活用。症例検討によりマネジメントの方法を学ぶ。テーマにより各班毎のグループワークを行う。各回毎にレポートを提出する。							
授業計画	<p>第1回 腎疾患の栄養ケア(腎臓病食品交換表の使い方)(村上)</p> <p>第2回 献立の展開(一般食からたんぱくコントロール食へ)(村上)</p> <p>第3回 栄養補給法(たんぱくコントロール食の調理実習)(村上)</p> <p>第4回 腎疾患の症例検討(村上)</p> <p>第5回 介護老人保健施設における栄養ケアマネジメント(村上)</p> <p>第6回 食の援助 介護食器の使用等方法等(大川)</p> <p>第7回 摂食・嚥下機能障害者への援助(福田)</p> <p>第8回 排泄の援助(大川)</p> <p>第9回 中心静脈栄養と末梢静脈栄養(深水)</p> <p>第10回 実習の注意点 栄養アセスメント ① 身体計測とその評価(甲斐)</p> <p>第11回 栄養アセスメント ② 必要栄養量の算定(甲斐)</p> <p>第12回 SGA・ODA 症例検討(甲斐)</p> <p>第13回 栄養計画(栄養補給法)と栄養管理計画書の作成 経腸栄養剤の評価(甲斐)</p> <p>第14回 栄養ケアプランの作成(甲斐)</p> <p>第15回 経腸栄養補給法・静脈栄養補給法(甲斐)</p> <p>病態毎の適切な栄養ケアプランの作成、摂食嚥下機能に応じた適正な栄養管理が実践できる。</p> <p>看護学教員・摂食・嚥下認定看護師・薬剤師により知識と技術を習得し、他職種連携について学ぶ。</p>							
授業の到達目標	<p>各病態の基本的知識を理解し、傷病者に対する総合的なマネジメントの考え方と方法が理解できる。【知識・理解】</p> <p>また、看護・介護実習を通して傷病者への基本的な対応方法を学ぶとともに、看護師・薬剤師からの実践実習により知識と技術を習得する。チーム医療における多職種間連携の理解を深めることができる。栄養リスクの判定、栄養アセスメントの為に身体計測ができる。検査値から患者の状態が把握できる。アセスメントの結果から問題を発見し解決の為に傷病者の社会的背景を考慮した、栄養ケア計画、栄養管理計画書が作成できる。【汎用的技能】</p> <p>ロールプレイによる模擬栄養指導により、指導に必要なコミュニケーション力を習得する。【態度・志向性】</p>							
授業時間外の学修	<p>からだと疾病Ⅰ・Ⅱの復習をし、予習とする。(1時間)</p> <p>基礎栄養学の復習をし、予習とする。(1時間)</p> <p>臨床栄養学Ⅰ・Ⅱの復習をし、予習とする。(2時間)</p> <p>復習 実習で学んだ事・課題についてレポート作成する。</p>							
課題に対するフィードバック	各実施回毎のレポート提出。点検後、再提出がある場合は書き直させる。発表に関しては、各班毎に学生同志でディスカッションを行い講評、全体総評を行う。			評価方法		<p>学習態度 20点</p> <p>発表内容 20点</p> <p>レポート 60点</p>		
テキスト	①「臨床栄養学実習 フローチャートで学ぶ臨床栄養管理」 中村富予ほか 建帛社②「糖尿病食事療法のための食品交換表」 文光堂③「腎臓病食品交換表」 医歯薬出版 その他、必要に応じて資料を配布する。							
参考書	その他、授業の中で随時紹介する。							
備考								